

本時の視点 「話すこと〔発表〕」の言語活動の工夫

1 単元 Unit6 Let's think about our food. (NEW HORIZON Elementary English Course 6)

2 目標

他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、AET のビデオレターから好みや趣味などについて、具体的な情報を聞き取ったり、伝えたい内容を整理し、茨城県の特産物を使ったおすすめのオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話したりすることができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと 〔発表〕	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<知識>	<技能>		
聞くこと	I ate ～. I usually eat ～. ～ is from … ～ is in the group. およびその関連語句などについて、理解している。	好きな味や食材、食べ物の栄養素などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、AET のビデオレターから AET の好みや趣味などについて、具体的な情報を聞き取っている。	他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、AET のビデオレターから AET の好みや趣味などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと 「発表」		おすすめの食材やその理由などについて、I ate ～. I usually eat ～. ～ is from … ～ is in the group. などを用いて、自分の考えや気持ちを話す技能を身に付けている。	他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、伝えたい内容を整理し、茨城県の特産物を使ったおすすめのオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話している。	他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、伝えたい内容を整理し、茨城県の特産物を使ったおすすめのオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話そうとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、食材の産地や栄養素についての基本的な表現方法を学び、おすすめのオリジナルカレーについての情報をやり取りしたり、紹介したりすることで、プレゼンテーション力を養う単元である。食の経験をテーマにすることは、児童にとって身近で、自分の考えや思いを伝える場の設定に適している。児童に、低学年から日本語との相違を意識しながら学んできた、野菜や果物などの既習事項を十分に想起させながら、茨城県の特産物とオリジナルカレーを関連付けて紹介する活動にも適した教材である。

(2) 児童の実態（在籍 31 名）

本学級の児童は、教科書の Small Talk や Let's Watch and Think などの学習を通して、英語を聞くことに慣れ親しんでいる児童が多く、キーワードから概要を聞き取る技能が身に付きつつある。また、5月に行った実態調査においても、「自分の考えや気持ちを英語で話すことが好きである」と答えた児童は 73% おり、会話活動に対する意欲が高いことが分かる。自分の考えや思いを伝えるために、既習表現を用いたり、ジェスチャーを使ったりして、表現方法を工夫している児童もいる。一方で、間違いを恐れて、主体的にやり取りをするに苦手意識をもっている児童もおり、Small Talk や Activity でやり取りをする場面では、自分から意見を言ったり、積極的に話しかけたりすることに課題が見られる。

英語に関する実態調査 調査人数 30 名 令和 3 年 5 月 28 日実施 (ア：とても イ：まあまあ ウ：あまり エ：全く)

- 自分の考えや気持ちを英語で話すことは好きですか。
ア 10 名 イ 12 名 ウ 8 名 エ 0 名
- 分からない英語があっても、続けて聞こうとしていますか。
ア 11 名 イ 15 名 ウ 4 名 エ 0 名

- 3 積極的に手を挙げていますか。
ア 3名 イ 7名 ウ 10名 エ 9名
- 4 英語やジェスチャーを使って、言いたいことを何とか伝えようとしていますか。
ア 9名 イ 11名 ウ 9名 エ 1名
- 5 学校での英語の授業や活動の内容をどのくらい理解していますか。
(ア ほとんど理解 イ 70%位 ウ 半分くらい エ 30%位)
ア 4名 イ 17名 ウ 4名 エ 3名
- 6 英語の授業や活動が得意ですか。
ア 4名 イ 17名 ウ 6名 エ 3名
- 7 気持ちや考えを表す短い文を英語で言うことができますか。
ア 10名 イ 15名 ウ 4名 エ 1名
- 8 気持ちや考えを表す短い文を英語で書くことができますか。
ア 7名 イ 13名 ウ 6名 エ 4名
- 9 英語の活動で、自分の考えや思いを伝えるために工夫していることは何ですか。(自由記述)
既習表現を用いて言う…8名 できるだけ大きな声でゆっくり言う…4名
教科書を見たり、先生に聞いたりする…2名 ジェスチャーを使う…11名 無記入…5名

(3) 指導観（本分科会テーマについて）

本分科会では、「話すこと〔発表〕」の言語活動の工夫について研究を進めてきた。児童が自信をもってコミュニケーション活動を行い、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、児童の興味・関心の高いトピックを設定し、Small Talk やプレゼンテーションに継続的に取り組んできた。また、パラフレーズでより簡単な言い方を考えたり、リアクションカードを用いて、教師や友達とやり取りを続ける活動を積み重ねたりしてきた。さらに、単元の最初から言語活動を導入し、児童が明確な目的をもって単元に取り組めるように、場の設定を工夫してきた。その結果、自己表現が苦手な児童がジェスチャーを用いたり、児童同士でアドバイスをしたりして、積極的にプレゼンテーションに取り組めるようになってきた。

本単元では、児童がeat, ate, went, enjoyed, wasなどの既習表現の中から適切な表現を選択し、児童が自信をもってやり取りができるようにするため、教科書やピクチャーカード、リアクションカードなどの教材を用いて、表現方法に何度も慣れ親しむ場面を設定する。本単元と関連して、児童は、Unit3で、「AET におすすめの茨城県の地域をプレゼンしよう！～茨城県魅力度アップ大作戦！～」を目標に他校8名のAETからのビデオレターを繰り返し聞いて、情報を整理する活動を行っている。本単元では、その続きとして、AET たちが好みのカレーを話している動画を視聴し、具体的な情報を聞き取った上で、友達と発表について互いの考えを伝え合うことを通して、単元終末の活動で活用するための表現を十分に習得できるようにする。単元の始めに、「茨城県の魅力度をアップしよう大作戦！」と称して、「他校のAETにオリジナルカレーについてビデオレターで返答する」という目的を伝えることで、単元を通して児童が明確な相手意識をもてるようにし、単元の目標に迫っていききたい。また、家庭科や総合的な学習の時間等で教科横断的に特産物について扱い、児童用 PC を用いてグループや個人でおすすめの特産物を調べ、発表の資料を作ることで、一人一人が茨城県の魅力を紹介したいという気持ちを高められるようにする。グループでのプレゼンテーションでは、暗記した内容の発表ではなく、単元のループリックでジェスチャーや声の大きさ、表情などもコミュニケーションに含まれることについて確認し、相手に分かりやすく伝えることができるよう指導したい。

6 指導と評価の計画

次	時	ねらい（■）主な言語活動等（○）	知	思	態	評価の観点【評価方法】
1	1	■単元の目標を理解する。 ■食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解することができる。 ○Small Talk：あなたは普段朝食に何を食べていますか？ What do you usually have for breakfast? ○Word Link：「食べ物」と「食事」を復唱する。 ○Starting Out - 音声聞いて、登場人物が食べた物を聞き取って教科書に丸を付ける。 ○Let's Read and Write①～④ - 重要な言い回しを AET の後で復唱し、教科書に書く練習をする。 - 茨城のおすすめの特産物を用いたオリジナルカレーを紹介し、AETへビデオレターをプレゼントすることを確認し、単元の見通しをもつ。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。

	2	■食べ物がどこの産地で、どの栄養素のグループに入るのか伝え合うことができる。 ○Small Talk：あなたは昨晚何を食べましたか？ What did you eat last night? ○Let's Try② P. 52 ・友達と協力し、P. 56, 57 の Point and Say Game をする。 ○Let's Listen② P. 53 ・食べ物がどの栄養素のグループに分けられるか聞く。絵カードを教科書に置いて考える。 ・家庭科で学習した「三大栄養素」の掛け軸を見ながら、ゲストティーチャーの栄養教諭に英語で学んだ食材がどの色の栄養素に属しているのかを確認する。 ○Let's Try③ P. 53 ・グループになり、絵カードをシャッフルし、めくって出たカードがどの栄養素のグループなのかを伝え合う。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
2	1	■好みに合わせたオリジナルカレーを紹介するために、AETの好みや趣味などについて、具体的な情報を聞き取ることができる。 ○Small Talk：あなたは昨晚何を食べましたか？ What did you eat last night? ○Let's Watch ・校長先生のビデオレターを視聴する。 ・AET と JTE のデモンストレーションを見ることで、聞き取った情報をもとに、校長先生の好みや趣味などにあったオリジナルカレーを考えていくか参考にする。 ○Let's Listen ・8名のAETからのビデオレターを聞く。 ・聞き取った情報を整理し、自分たちがどのAETに茨城県の特産物を用いたオリジナルカレーを紹介したのか、グループで話し合う。	○	○	○	『『聞くこと』の記録に残す評価』 (知識・技能) 【ワークシート】 (思考・判断・表現) 【観察・ワークシート】 (主体的に学習に取り組む態度) 【観察・ワークシート】
	2	■総合的な学習の時間で調べてきた茨城県の特産物について話し合い、やり取りできる。 ○Small Talk：それはいくらですか？ How much is it? ○Let's Read and Write ①～④ (復習) ・重要な言い回しを復習する。 ○「わたしのせりふ」 ・P. 88 の「わたしのせりふ」に、調べてきた情報をもとにオリジナルカレーの紹介を書く。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
	3	■「オリジナルカレーメモ」を作って、やり取りをすることができる。 ○Small Talk：あなたは昨晚何を食べましたか？ What did you eat last night? ○Let's Listen ・AETからのビデオレターを繰り返し視聴し、聞き取った情報と、自分たちが調べてきた情報とを、グループ内で照らし合わせてまとめる。 ・おすすめの理由（味やトッピングの仕方など）について、友達と話し合い、情報を共有する。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
3	1	■調べてきた情報をもとに、グループでスライドを作成し、オリジナルカレーについて自分の考えや思いをまとめることができる。 ○児童用PCでスライドを作る。 ・教師のデモンストレーション「わたしのせりふ」を見る。その際、予め確認しておいたループリックを				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。

		意識し、ジェスチャーも交えてプレゼンテーションすることを共有する。 ・各自で調べてきた特産地、栄養素、値段、トッピングの情報を友達と教え合いながら、プレゼンテーションの発表メモとスライドを完成させる。				
	2	■オリジナルカレーについてのプレゼンテーションに向けて、グループ内でやり取りができる。 ○やり取りをする。 ・児童用 PC を用いて互いに撮影し合い、グループ内で改善点を話し合いながら、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えや思いをたずねて聞き取ったりするやり取りをする。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
4	1 (本時)	■相手に伝わりやすい発表にするために、茨城県の特産物を使ったおすすめオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話すことができる。 ○プレゼンテーションを行う。 ・スライドを見せながら、1対1で友達に対してプレゼンテーションを行い、改善点をアドバイスしてもらう。 ・友達のプレゼンテーションを聞いて、コメントや質問をする。 ・グッドモデルの発表を共有する。 ・グッドモデルや、もらったアドバイスを次のプレゼンテーションに生かす。				本時では、学習状況を把握するが、記録に残す評価は行わない。
	2	■他校の AET にオリジナルカレーを紹介するために、茨城県の特産物を使ったおすすめオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話すことができる。 ○Enjoy Communication ・用意したグループでのスライドをモニターで提示しながら発表する。(その様子を AET ヘビデオレターとして送るため撮影する。) ・終わったら、工夫したことをワークシートに記入する。	○	○	○	『話すこと [発表]』の記録に残す評価 (知識・技能)【動画】 (思考・判断・表現)【観察】 (主体的に学習に取り組む態度)【観察】

※記録に残す評価は行わない場合においても、ねらいに即して児童の活動の状態を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

7 本時の指導

(1) 目標

相手に伝わりやすい発表にするために、茨城県の特産物を使ったおすすめオリジナルカレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話すことができる。

(2) 準備

モニター、ループリック、児童用 PC、譜面台

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 (◎本時の視点に迫るための手立て)	
	JTE	AET
1 あいさつをする。 曜日、日付、天気	・児童が使用する英語表現を想起できるように、モデル会話を提示する。	
2 Small Talk を行う。 Topic: What did you eat last night? (1) JTE-AET → AET-S (2) ペアで1回目を行う。 (3) シェアリング (4) ペアを替えて2回目を行う。	・中間指導では、児童の質問に答えるだけでなく、使わせたい表現を共有し、クラス全体で確認することで、次に生かせるよう指導する。 ・会話を続けられたペアを取り上げ、表現の適切さやコミュニケーションの取り方	・中間指導では、児童が言いたくても言えなかったことを共有し、日本語と英語での相違や、表現方法の正確さ等をクラス全体で確認する。 ・机間指導し、キーワードを示すなどして戸惑っている児童を支援する。

A: What did you eat last night? B: I ate curry and rice. It was spicy. A: Oh, I see. Do you like spicy curry? B: Yes, I do. How about you? A: No, I don't. I like sweet curry.		を称賛する。	代表で Small Talk をするペアを称賛し、良かった表現方法を全体で共有する。
3 本時の学習課題を知る。 友達に茨城県の特産物を用いたおすすめのオリジナルカレーをプレゼンテーションすることができる！ ～茨城県魅力度アップ大作戦！パートⅡ～	前時までの学習を振り返りながら、本時の活動内容と活動の流れを確認して見通しがもてるようにし、活動への意欲を喚起する。	8名の AET の写真を掲示し、やり取りを交えながら前時までの学習を振り返り、活動への意欲を喚起する。	
4 プレゼンテーションをする。(約2分) (1) 4グループの内の2グループが、残り2グループに対して、1対1でプレゼンテーションを行う。 (2) 1対1の発表後、アドバイスを次のプレゼンテーションに活かす。	◎相手に伝わりやすい表現をループリック等で確認し、児童が見通しをもって活動できるようにする。	◎JTEとデモンストレーションでグッドモデルを示したり、やり取りを交えたりしながら児童がスムーズに活動に取り組むことができるようにする。	
S1: Hello. S2: Hello. S1: I'm Mana Kashiwabara. I usually eat beef curry at home. This is my Power-up Beef Curry. Ben likes beef, too. And he also likes running. I'll talk about beef. Beef is in the red group. I like <i>Hitachi Gyu</i>. Do you know <i>Hitachi Gyu</i>? It's delicious. S2: Where is the beef from? S1: It's from all areas in Ibaraki. S2: Oh, I see. How much is it? S1: It's about 980 yen per 100g. S2: Really? It's expensive!	- デモンストレーションでモデルを示し、児童がスムーズに活動に取り組むことができるようにする。 - 効率よく支援するために、8グループを半分に分け、JTEとAETそれぞれで指導する。	- デモンストレーションでモデルを示し、児童がスムーズに活動に取り組むことができるようにする。 - パラフレーズやリキャストなどで例を示し、質問の仕方や答え方などを助言する。 - よくできたところを具体的に称賛する。	
(3) 途中、グッドモデルを共有する。 (4) ペアを交代し、アドバイスを参考にプレゼンテーションを行う。			
5 本時の活動を振り返る。 振り返りシートに記入する。	- 本時の活動を振り返り、相手に伝わりやすくするためには、どうしたらよいかという視点で振り返りシートに記入させる。 - 数人を指名し、互いに達成感を共有できるようにする。また、本時のねらいに照らした振り返りについても触れるようにする。	本時の活動で、良かった所を称賛し、クラス全体で共有する。	
6 あいさつをする。	次時のめあてを伝え、明るくあいさつをする。	明るくあいさつをし、次時の意欲につなげることができるようにする。	